

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（2）
2. 日時：令和5年3月3日（金） 11：00～12：00
3. 場所：原子力規制庁8階会議室（TV会議システムを併用）
4. 出席者（※：TV会議システムを併用）：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

原子力規制部

原子力規制企画課 大村国際原子力安全規制制度研究官、藤森企画調査官、湯澤課長補佐

審査グループ実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

関西電力株式会社 原子力事業本部 保全計画グループ マネジャー 他2名※

5. 要旨：

- 原子力事業者等から、高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チーム（以下「検討チーム」という。）第2回会合に出席するに当たり、原子力事業者等として資料を用意する必要があるのか確認があった。
- 原子力規制庁から、これまで開催した高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する意見交換会や検討チームでの議論等を踏まえて、原子力事業者等として考えていることがあれば資料として準備いただきたいと回答した。
- 原子力事業者等から了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：なし